

岩手県東日本大震災津波復興委員会 第29回総合企画専門委員会の審議概要について(報告)

1 開催概要

(1) 開催方法 書面開催

※ 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、委員長と協議の上、書面開催としたもの、

(2) 日 時 令和3年9月

(3) 書面の提出があった委員 委員9名(別添名簿のとおり)

(4) 議 事

いわて復興レポート2021(案)について

2 審議結果の概要(主な意見等の内容)

(1) いわて復興レポート2021(案)について

[齋藤委員長]

- ・ 各指標が数値上の目標を達成する一方で、沿岸市町村の人口減少が著しい状況を踏まえると、地域創生の未来像となる俯瞰的な施策を検討していかなければならないのではないかと。
- ・ コロナ禍は、復興計画では想定し得なかった事態ではあるが、国の危機管理施策に加え、県立感染症病院の建設など県独自の感染症対策が必要なのではないかと。

[高嶋委員]

- ・ 全体として、何が課題だと考えているかをコメントすべき。県民からの期待が高い社会資本の整備、被災地特有の事象である被災者のこころのケアが重要であると考えている。
- ・ 「安全の確保」の分野に関して、海岸保全施設等の完了の見通し等を明記すべきである。

[小野寺委員]

- ・ 令和2年度の「未来のための伝承・発信」の分野の進捗率が低い、具体的な内容や改善策について教えてほしい。

<回答> 具体的には、防災文化醸成のための研修会等が新型コロナの影響で開催できなかったものであるが、現在は、基本的な感染対策やオンラインの活用等により取組を進めている。

[菅野委員]

- ・ 新型コロナウイルス感染症による復興への具体的な影響が読み取れない。
- ・ 「心とからだの健康観察」の調査結果について、要サポート児童生徒の割合が沿岸部で高いことについて、分析が必要。

[谷藤委員]

- ・ 「なりわいの再生」の分野に関しては、既に東日本大震災津波に直接起因しない要因による課題が生じており、人口減少問題への対応も含め、「復興」の枠組みを超えた、大きなフレームワークで復興策を検討していく必要がある。

次ページに続きます

[中村委員]

- ・ 仙台市では、本年6月に「仙台市職員間伝承ガイドブック」を作成し、職員間で震災の経験や教訓を継承し、災害対応力の強化を図ることとしている。本県でも震災の経験のない職員が増えていることから、研修において災害への対応を強化する取組が必要である。
- ・ 復興道路や復興支援道路、釜石鶴住居スタジアム等、これまで整備された施設を広域的に有効活用していくための仕組みや仕掛けが必要である。

[平山委員]

- ・ 人口減少対策について、例えば、直近5年間の人口減少率が、その前の5年間の減少率より大きい市町村が多いが、原因の分析・解明や対策の検討を進めてほしい。
- ・ 復興需要の縮小、新型コロナ、不漁などの外的要因の影響は大きい、今後も観光や新産業の立地などの対策に力を入れてほしい。

[広田委員]

- ・ 令和2年国勢調査による沿岸部の人口について、前回（平成27年）、前々回（平成22年）調査とともに、国・県全体・内陸部の動きと比較しながら、減少幅の評価や分析を行うべきである。
- ・ 沿岸部の有効求人倍率や「復興に関する意識調査」について、結果に関する考察についても言及することが必要である。

[南委員]

- ・ 「震災からの10年間の営み全体が、教訓であり、必ずやってくる次の危機への備え、伝承であること」を強調してほしい。復興レポート自体が、教本となり、伝承に役立つことを期待している。
- ・ 「伝承は、次への備えであること、地域の人々をつなぐ力になること」を強調したい。大災害とそこからの復興を記録し伝えるという歴史的な役割を持つ「伝承」の取組が、三陸、岩手の人々をつなぎ合わせ、未来の地域を拓く足がかりを与えるものと考えている。

(2) その他全般について

[平山委員]

- ・ いわて復興未来塾の沿岸報告会（令和3年7月実施）に参加し、交通ネットワークの利便性の向上を実感した。
- ・ 若者、女性、ボランティアなど、広域的視点を持った人材の活躍が目立ってきたことは、三陸の新たな地域づくりにとって力強い動きである。県が進めてきた幅広い人材の受入や女性参画推進専門委員会の設置の効果を感じている。

次ページに続きます

岩手県東日本大震災津波復興委員会

第29回総合企画専門委員会 書面開催への参加委員名簿

氏名	職名等	備考
齋藤 徳美	国立大学法人岩手大学 名誉教授	委員長
高嶋 裕一	公立大学法人岩手県立大学 総合政策学部長	副委員長
小野寺 徳雄	株式会社昭和土木設計 技師長	
菅野 信弘	北里大学 海洋生命科学部長兼三陸臨海教育研究センター長	
谷藤 邦基	株式会社イーアールアイ 取締役	
中村 一郎	三陸鉄道株式会社 代表取締役社長	
平山 健一	国立大学法人岩手大学 名誉教授	
広田 純一	国立大学法人岩手大学 名誉教授	
南 正昭	国立大学法人岩手大学工学部 教授	